

美術解剖学の本は色々ありますが、

*本を見ても十分に理解出来ない。

*本の解説と生身の人間とはぜんぜん違うけど、
何が違うのすらピンとこない。

*自由自在に人を描けるような理解には程遠い
自分に、落ち込む好評につき3月まで開催延長

こんな声がほとんどです。

これではいくら良い本を買っても作品に役立つ知識に
は到達しませんが、実はほとんどの人がそうなのです。



開講

美術解剖学モデルが教える
美術解剖学講座

一冊の美術解剖学書を、生身のモデルと照らし合せながら目の
前で確認して行く事です。本が何を言ってるのか、本当に生身
の人間はそうなっているのか、美術解剖学モデル海斗の解説を
聞きながら、時には自らの触覚で確認しながら、マスターして
行くことです。

その向こう側には「ヒトの形の何をどう観たら良いのか」とい
う観る力を習得した自分がいることでしょう。

補講開催 **3月16日**
開催分募集中

『美術解剖学モデルが教える美術解剖学』のご案内

年間プログラム予定

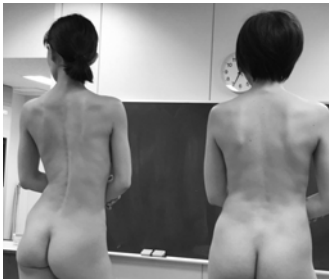
5月26日	第1回	プロポーション
6月16日	第2回	体幹と胴体
7月14日	第3回	手と腕
8月18日	第4回	背中と腕
9月29日	第5回	顔の構造と表情
10月20日	第6回	脚・足・お尻
11月17日	第7回	人種の差 (黒人、白人、アジア人)
12月15日	第8回	脂肪、そして人のカタチ
1月19日	第9回	人を描くワークショップ (総合的復習と実習スケッチ)
2月16日	第10回	卒業クロッキー 100本 (自由自在に人が描けるかけるスキル)
3月16日	補講	(出られなかった回、もう一度聞きたい回)

開催時間：10時～17時
(昼休憩1時間を含む)

セッション風景



男女性差を解説



同性の間の個性差の解説



不明な部位は触って覚えます。



外国人モデルを採用し、人種差にも触れます。

本セッションの概要

- 毎回講義には性差による違いを必ず解説して行きます。
例えば肩なら肩で男女の肩の形態学的、器質的な違いをマスターできます。
- かなり深く学習します。毎回の講義前に課題図書で予習をしていただくのが望ましいです。
- 毎回のテーマによって女性モデルには理学療法士、ダンサー、などテーマに最適なモデルを起用します。

料金・定員のご案内

参加料金：1講義 **8,000円** (税込)
 教科書代：**3,240円** (税込)
 ※本講座の教科書は基本的に各参加者様でご購入・ご準備ください。
 事前準備ができない方は海斗の方で手配しますので、その旨申し込み時にご連絡ください。
 定員：**20名** (先着順受付、定員になり次第受付終了)

本講座教科書のご案内



アーティストのための美術解剖学
 Valerie L. Winslow 著
 宮永 美知代 翻訳・監修
 (東京芸術大学 美術学部 芸術学科 助教)
 オンライン購入はこちら
[amazon https://www.amazon.co.jp/dp/4837301800](https://www.amazon.co.jp/dp/4837301800)

お問合せ・お申込み

kaito3021@gmail.com
 ※ご氏名、参加希望の日、参加区分(一般・学生)をお伝え下さい。
 「モデル海斗」のHPにも詳細が出ています。
<http://artmodel-hiro.com/>



持参物

指定教科書・鉛筆・スケッチブック

開催場所

ポリゴンマジック株式会社 5F 会議室
 〒106-0032
 東京都港区六本木七丁目 18 番 18 号
 住友不動産六本木通ビル
 ※日比谷線「六本木駅」出口2より徒歩2分

ご留意頂きたい項目

- ❗ 当日は、会場での指定教科書・画材レンタルはありません。必ず指定教科書と画材を持参頂きますようお願い致します。
- ❗ 本プログラムは指定教科書を基に美術解剖学を学ぶ会です。ご参加される際は「必ず」教科書をご持参して頂くことをお願い致します。(当日貸出はございません)

